

# 橋本ゼミ「教養プロジェクト」

2015-ver. 2

以下の 10 項目について、「これが人格(person)ないし教養(culture)を磨く!」(自分の場合もそうであったし、他者にもお勧めしたい!)と思われるものを、それぞれ 10 点ほど挙げてご紹介ください。いまからでも遅くありません。このリスト作りのために、いろいろ経験してみてください。

- (1) 本 (小説) ~1980 年までの作品
- (2) 本 (社会科学・思想) ~1980 年までの作品
- (3) 音楽の演奏家・作曲家 (ジャズ)
- (4) 音楽の演奏家・作曲家 (クラシック)
- (5) 映像 (ドキュメンタリーその他) 北大にあるもの
- (6) 映像 (映画) 北大にあるもの
- (7) ホームページ
- (8) 建築物
- (9) 画家 (画集・伝記・自伝)
- (10) その他 1 (自分の関心に合わせて)
- 【任意】(11) その他 2 (偉人・奇人の伝記・自伝)

大学一・二年生に勧めたいもの、という基準にする。その際、勧めるものは、自分が大学生になってから経験したものとする。

それぞれの項目につき 10 点を挙げて、的確な情報と関連 HP アドレスを調べる。(最終的には、入門編 10 点、中級編 10 点、マニア編 10 点の、合計 30 点を挙げられるようになりたい。二回目以降は、この配分にも配慮したい。)

合計 100 点のリスト情報を、ワードファイルで作成する。

それぞれの項目ごとに、400 字以上のコメントをワードファイルで作成する。10 項目で、合計 4,000 字以上のコメントとする。字数を大幅にオーバーしてもかまわない。

パワーポイントで、プレゼンテーションの資料を作る。発表時間は 10 分とする。発表では、それぞれの項目につき、1 点ないし 2 点を重点的に紹介する。紹介に際して、「実はこの映画の音楽に使われているこの曲は、・・・」とか、「この文学作品と同時代の建築物には、・・・」など、関連する作品を取り上げるようにする。

リスト情報+コメント+プレゼンテーション資料を、メーリングリストに流す。

オーディエンスから「教養=文化」度の評価を受ける。他の報告者の「教養=文化」度を評価する。

例)

(2) 【ベスト 1 位】フリードリッヒ・ニーチェ『善悪の彼岸』木場深定訳、岩波文庫。原書は 1886 年刊行、邦訳は 1970 年。

本書の紹介 HP: <http://blog.livedoor.jp/yk713-sport/archives/18497776.html>

## 「教養プロジェクト」リンク集

### (1)小説

ウィキペディア「[日本の近現代文学史](#)」

ウィキペディア「[ノーベル文学賞](#)」

ウィキペディア「[文学賞の一覧](#)」

[世界文学年表](#)

[作家のたまご 50 人が選ぶ！おすすめ世界名作小説【文学】](#)

[世界文学の名作を読む](#)

[世界文学ベスト 100](#)

[朗読ポータル しみじみと朗読に聴き入りたい](#) (総合リンク集)

[年代流行「ベストセラー本ランキング」](#)

単行本 [『原色シグマ新日本文学史—ビジュアル解説 \(シグマベスト\)』](#)

単行本 [『原色シグマ新国語便覧—ビジュアル資料 \(シグマベスト\)』](#)

単行本 [加藤周一『日本文学史序説〈上・下〉 \(ちくま学芸文庫\)』](#)

### (2)社会科学・思想

[文庫でここまで読める、社会科学の古典 150 冊](#)

[『古典から読み解く社会思想史』 関連年表\(PDF\)](#)

[哲学舎 \(哲学・思想・科学のポータルサイト\)「哲学史・思想史・科学史の年表」](#)

[社会科学文献年表](#) (経済学寄り)

NAVER まとめ [社会科学の巨匠の名著が原文で読めるページまとめ](#)

[千夜千冊](#) (編集者、松岡正剛の HP)

単行本 [矢代梓『年表で読む二十世紀思想史』\(講談社学術文庫\)](#)

単行本 [富永健一『現代の社会学者—現代社会科学における実証主義と理念主義』\(講談社学術文庫\)](#)

単行本 [縮刷版 社会学文献事典](#)

単行本 [現代社会学事典](#) (巻末に収録されている本のリストが参考になる)

### (3)ジャズ

ウィキペディア「[ジャズ](#)」

NAVER まとめ [【初心者向け】ジャズ入門！](#)

NAVER まとめ [初心者にもおすすめの JAZZ 名盤](#)

[ジャズ大好き！～初心者向け Jazz 入門～](#)

ジャズ名盤紹介サイト [JAZZ CD.JP](#)

[ジャズCDの個人ページ](#)

プログレ名盤選→[ジャズロック名盤集](#)

単行本 [Jazz The New Chapter](#)～ロバート・グラスパーから広がる現代ジャズの地平（シンコー・ミュージック MOOK）

単行本 [Jazz The New Chapter 2](#)（シンコー・ミュージック MOOK）

単行本 [東京大学のアルバート・アイラー—東大ジャズ講義録・歴史編](#)（文春文庫）

単行本 [東京大学のアルバート・アイラー—東大ジャズ講義録・キーワード編](#)（文春文庫）

(4)クラシック音楽について

[クラシックソムリエ検定公式テキスト対応「世界で一番わかりやすいクラシック音楽入門のCD」](#)（各巻に収録されている曲のリストが参考になる）

ウィキペディア「[クラシック音楽の演奏家一覧](#)」

ウィキペディア「[クラシック音楽の指揮者一覧](#)」

[CLASSICA](#)（クラシック音楽のニュースとリンク集）

NAVER まとめ「[クラシック音楽](#)」

[クラシック音楽ファンのための動画視聴サイト「音楽の森」](#)

単行本 [岡田暁生『西洋音楽史—「クラシック」の黄昏』](#)中公新書

単行本 [加藤浩子『ビジュアルで楽しむクラシック名曲案内』](#)

単行本 [吉田秀和『名曲三〇〇選—吉田秀和コレクション』](#)（ちくま文庫）

(5)映像（ドキュメンタリーその他）について

[北大の蔵書検索](#)の「詳細検索」で、「AV 資料」をクリック→加えて「検索条件」で、「すべての項目」において「ドキュメンタリー」（あるいは「歴史」など）と入力し、検索する。  
ウィキペディア「[ドキュメンタリー](#)」

(6)映像（映画）について

[北大の蔵書検索](#)の「詳細検索」で、「AV 資料」をクリック→加えて「検索条件」で、「すべての項目」において「映画」と入力し、検索する。

ウィキペディア「[映画史](#)」

(8)建築物

ウィキペディア「[建築家](#)」

NAVER まとめ [【画像】世界の凄い建築写真まとめ](#)

世界の建物図鑑「[ポップ・アウト・ワールド](#)」

みんなで作る建築写真ギャラリー「[建造物一覧](#)」

[建築写真集 NO](#)（日本各地にある著名建築家の建築物）

[国指定文化財等データベース](#)

単行本 [佐藤達生『図説 西洋建築の歴史: 美と空間の系譜』](#)（ふくろうの本）

単行本 [玉井哲雄『図説 日本建築の歴史』](#) (ふくろうの本)

#### (9)画家

[Google Cultural Institute](#) 世界中の美術館やアーカイブから展示やコレクションを検索

[Google Art Project](#) 世界の美術館をバーチャルに散策

ウィキペディア「[画家の一覧](#)」

ウィキペディア「[日本画家](#)」

ウィキペディア「[西洋美術史](#)」

NAVER まとめ [画家](#)

[世界の有名な絵画・画家](#)

[西洋美術史一覧](#)

[日本美術史ノート](#)

[サヴァスタイル美術館](#)

単行本 [『改訂版 西洋・日本美術史の基本 美術検定1・2・3級公式テキスト』](#)

単行本 [高階秀爾『カラー版 西洋美術史』](#)

#### (10)その他

[歴史研究所](#) (入門に最適)

### 教養プロジェクト【見本】(小田遼さんのリスト)

#### (2) 本 (社会科学・思想) ~1980 年までの作品

○イマヌエル・カント『純粋理性批判』熊野純彦訳、作品社。原著は1781年に刊行。邦訳は2012年に刊行。

→カント以前からの哲学の潮流である観念論と実在論を相克し、どちらの立場にも与することなく人間は何を、どのように認識しうるのか、根源的な問いに立ち向かっている。人間は何を認識しうるのか、この問いから理性的存在としての人間の姿をあらわにしていく。哲学、思想を語る上でははずせない一冊。そして、ひたすら難解であり、読み終えたときの充実感是他のどの書物でも得がたいという副次的効果がある。

本書の紹介 HP <http://philosophy.hix05.com/Kant/kant103.transcendental.html>

○イマヌエル・カント『道徳形而上学の基礎づけ』宇都宮芳明訳、以文社。原著は1785年に刊行。邦訳は1998年に刊行。

→カントの『純粋理性批判』と『実践理性批判』の橋渡しの一冊。しかし、特に倫理学に与えた影響は大きい。殺人者に追われる友人を助けるためだとしても、ウソについてはならないというほどまでの厳格な倫理学、カントの義務論のとっかかりとなる。

本書の紹介 HP <http://imsuchabookworm.blog.fc2.com/blog-entry-2.html>

○ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』野矢茂樹訳、岩波文庫。原著は1921年に刊行。邦訳は2003年に刊行。

→哲学史を大きなスパンで見たときに、『論理哲学論考』は大きなターニングポイントとなる一冊である。命題という形でつづるその思想は、哲学・思想というよりは論理学の赴きさえ感じさせる。言語哲学、分析哲学への最良の入り口である。

本書の紹介 HP [http://www.geocities.jp/mickindex/ramsey/ramsey\\_CN\\_jp.html](http://www.geocities.jp/mickindex/ramsey/ramsey_CN_jp.html)

○J・S・ミル『自由論』斉藤悦則訳、光文社古典新訳文庫。原著は1859年に刊行。邦訳は2012年に刊行。

→自由主義の古典の一つ。パブリックな視点からいうと他者の意見の尊重が自らの進歩にも寄与すると述べる。民主主義と言論の自由の礎を築いた。読めば他人の意見に対して余裕を持てるようになるかもしれない。

本書の紹介 HP <http://www.philosophyguides.org/decoding-of-mill-on-liberty/>

○ジョン・ロック『統治二論』加藤節訳、岩波文庫。原著は1689年に刊行。邦訳は2010年に刊行。

→ミル『自由論』とは異なった切り口の自由主義の古典。労働と所有の形態と人々が持つ権利について、権利と財産という観点から書かれている。

本書の紹介 HP <http://www.philosophyguides.org/decoding-of-locke-two-treatises/>

○マルクス・アウレリウス『自省録』神谷美恵子訳、岩波文庫。邦訳は1956年に刊行。

→ローマ皇帝のアウレリウスが自身に向けて書いたもの。自分の心、自分自身をありありと見つめるきっかけとなる本。

本書の紹介 HP <http://www.y-history.net/appendix/wh0103-078.html>

○プラトン『饗宴』森進一訳、新潮文庫。邦訳は1968年に刊行。

→哲学の原点にして、啓蒙書。知を求めることが善き生につながる、と述べる。知への愛こそが、知者のアイデンティティである。

本書の紹介 HP <http://www.philosophyguides.org/decoding-of-platon-symposion/>

○ニーチェ『ツァラトウストラ』手塚富雄訳、中央公論新社。原著は1885年に刊行。邦訳は1966年に刊行。

→ドグマと戦い、

本書の紹介 HP <http://www5b.biglobe.ne.jp/~michimar/hon3/026.html>

○デカルト『方法序説』野田又夫訳、中央公論新社。原著は1637年に刊行。邦訳は1978年に刊行。

→近代哲学の出発点となった一冊。「われ思う、ゆえにわれ有り」でよく知られている。思考の方法論として役立つかもしれない。

本書の紹介 HP [http://ittokutomano.blogspot.jp/2012/01/blog-post\\_29.html](http://ittokutomano.blogspot.jp/2012/01/blog-post_29.html)

○デュルケム『自殺論』宮島喬訳、中公文庫。原著は1895年に刊行。邦訳は1985年に刊行。

→社会科学の手本。社会科学の理論を用い、現実の事象をありありと切り取っている。どう著者の『社会学的方法の規準』もあわせて読むとよい。

## 教養プロジェクト（背景）

村上陽一郎『あらためて教養とは』新潮文庫、2009

竹内洋『教養主義の没落 変わりゆくエリート学生文化』中公新書、2014

池上彰『おとなの教養—私たちはどこから来て、どこへ行くのか?』NHK出版新書、2014

『ビジネスパーソンのための教養大全』日経BPムック、2013

『ビジネスパーソンのための「最強の教養書」100』日経ムック、2014